

## 建設文教常任委員会

開 催 日	令和4年9月14日
時 間	午前9時30分～午後1時41分
場 所	委員会室
出 席 議 員	岡山 克彦、山内 徳彦、成田 義之、久野 茂 飛永 勝次、大塚 祥之、浅妻 奈々子 (野々部 享議長)
欠 席 議 員	な し
出 席 理 事 者	永田市長 葛谷副市長 河口企画部長 石黒企画部次長兼人事秘書課長 林企画政策課長 岩田総務部長 飯田総務部次長兼財産管理課長 服部財政課長 長谷川建設部長 猿渡建設部参事 村瀬土木課長 川村土木課課長補佐 鈴木都市計画課長 木村都市計画課課長補佐 近藤都市計画課課長補佐 伊藤上下水道課長 中野上下水道課課長補佐 前田新清洲駅周辺まちづくり課長 吉田会計管理者 齊藤教育長 加藤教育部長 山本教育部参事 吉野学校教育課長 大沼学校教育課課長補佐 瀬尾学校教育課課長補佐 浅野生涯学習課長 藤田生涯学習課課長補佐 柴垣生涯学習課課長補佐 佐藤スポーツ課課長補佐 宮田スポーツ課主任主査 吉田学校給食センター管理事務所長 鈴木学校給食センター管理事務所所長補佐 三輪監査委員事務局長
関 係 職 員	栗本議会事務局長 後藤議会事務局次長兼議事調査課長 清本議事調査課主事
議案または協議事項	1. 建設文教常任委員会付託案件
備 考	傍聴者 なし

( 時に午前 9時30分 開会 )

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

皆さん、おはようございます。

残暑厳しい折、当委員会の委員全員の出席です。

また、飛永委員より、電子機器の持込みの申請を受けて許可いたしました。

定刻となりましたので、ただいまより建設文教常任委員会を開催いたします。

去る6日の本会議において建設文教常任委員会に付託となりました議案について御審議いただくわけですが、その前に野々部議長から御挨拶を受けたいと思います。

よろしく申し上げます。

議長 (野々部 享君)

皆さん、おはようございます。

建設文教常任委員会、早朝よりお疲れさまでございます。

去る6日に当委員会に審査付託されました議案につきまして、慎重な審議をよろしく願いいたします。

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

どうもありがとうございました。

続きまして、公務に復帰された市長から御挨拶を受けたいと思います。

よろしく申し上げます。

市長 (永田 純夫君)

おはようございます。

委員の皆様方には早朝より建設文教常任委員会への御出席、大変御苦勞さまでございます。

まず、今定例会に当たりまして、私と副市長はじめ幹部職員が不覚にもコロナにかかってしまいました。市議会並びに議員各位の皆様方には本当に御迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございませんでした。

幸い療養期間を経まして、後遺症もなく、元気に復帰をいたしました。引き続き、市の発展のために頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は付託になりました案件につきまして慎重に御審議を賜りまして、全ての案件につき御賛同賜りますようお願いを申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございました。

大塚委員。

大塚 祥之委員

おはようございます。大塚です。

建設文教常任委員会に入る前に私から1点お伺いしたいことがございまして、令和3年度清須市の歳入歳出決算書の中を見ていただくと気がついた方もいらっしゃると思うんですけども、総務委員会のほうでも段ずれだとかが起きているということで、総務委員会のお答えでは「気をつけます」ということだったんですけど、こういうことになった原因と、もう1個言うと、差替えができなかったということと、今後こういったことにならない、非常に見づらいというお答えも議員からも来てますし、当局側も感じているのではないかと思います。入る前にそこだけの御答弁じゃないですけど、いただけたらと思いますので、すみません、よろしく願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

吉田会計管理者。

会計管理者（吉田 敬君）

会計管理者、吉田です。

議員各位には御迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。

理由としましては、印刷業者に依頼しまして、左右ページが均一になるのが当たり前というふうに思い込んでいたのが主な原因でございます。会計課としましても、納品直後に認識はしております、印刷業者に再度製本を依頼したところですが、業者のほうには断られました。市内業者ということや格安ということもあり、無理は言えなかったというのが正直なところでございます。次回からは左右均等になるよう強く指示をいたします。申し訳ございませんでした。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

今、原因と理由ということで、市内業者だということではいろんなことがあったかと思いますが、これは議員も職員の方もしっかり予算を見ていかなくちゃいけない大切なものだというふうに認識しておりますので、こちらは絶対再発防止ということで、会計管理者としても次回こう

いったことがないように再発防止の御検討も含めて、業者とのしっかりしたやり取りをしていた  
だきたいというふうに思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

委員長、以上です。すみません、お時間いただきました。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

引き続きまして、会議に入ります。

傍聴者はお見えでしょうか。

議事調査課主事（清本 紫音君）

一般傍聴者はお見えになりません。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

当委員会に付託された所管は、建設部と教育委員会の各所管です。

審議日程といたしまして、本日、建設部の審査をいたしまして、16日に教育委員会の審査を  
していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

なお、発議第3号の意見書案についても当委員会に付託されておりますので、よろしくお願  
いします。

それでは、最初に、認定第1号 令和3年度清須市一般会計決算認定について、所管ごとに歳  
入、歳出続けて説明をお願いします。

当局。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課長の前田でございます。

認定第1号について、建設文教常任委員会建設部所管分の歳入を御説明いたします。

決算書の20、21ページを御覧ください。

14款使用料及び手数料、1項使用料、6目土木使用料、予算現額6千501万3千円、収入  
済額6千405万7千806円、1節道路橋梁使用料と2節都市計画使用料です。

同じく、7目消防使用料、予算現額254万6千円、収入済額178万5千550円、1節消  
防使用料のうち建設部所管は庄内川水防センター使用料58万4千350円です。

続きまして、2項手数料、1枚はねていただきまして、22、23ページを御覧ください。3

目土木手数料、予算現額76万1千円、収入済額104万2千300円、1節都市計画手数料です。

続きまして、15款国庫支出金、2項国庫補助金、1枚はねていただきまして、24、25ページを御覧ください。5目土木費国庫補助金、予算現額9億3千130万7千円、収入済額7億3千963万2千円、収入未済額1億9千189万2千円、1節道路橋梁費補助金と、1枚はねていただきまして、26、27ページをお開きください。2節都市計画費補助金です。

続きまして、16款県支出金、1項県負担金、1枚はねていただきまして、28、29ページを御覧ください。3目土木費県負担金、予算現額0円、収入済額65万9千円、1節土地区画整理費負担金です。

続きまして、2項県補助金、1枚はねていただきまして、30、31ページを御覧ください。4目農林水産業費県補助金、予算現額2千762万5千円、収入済額2千622万5千650円、収入未済額6万2千円、1節農業費補助金のうち建設部所管は単独土地改良事業補助金1千256万円、緊急農地防災事業補助金782万1千円、多面的機能支払事業補助金190万8千650円、排水機維持管理事業補助金193万5千円です。

同じく、6目土木費県補助金、予算現額2千926万円、収入済額2千926万600円、1節道路橋梁費補助金から3節土木管理費補助金までです。

続きまして、3項県委託金、1枚はねていただきまして、32、33ページを御覧ください。4目土木費委託金、予算現額70万円、収入済額3万5千500円、1節都市計画費委託金です。

続きまして、1枚はねていただきまして、34、35ページを御覧ください。

18款寄附金、1項寄附金、5目土木費寄附金、予算現額0円、収入済額6万円、1節都市計画費寄附金です。

続きまして、19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、予算現額9億2千90万4千円、収入済額9億2千90万4千円、1節基金繰入金のうち、1枚はねていただきまして、36、37ページを御覧ください。建設部所管は、都市計画施設基金繰入金2億円です。

続きまして、21款諸収入、5項雑入、2目雑入、予算現額6億4千860万9千円、収入済額6億4千202万5千156円、収入未済額1千523万509円、1枚はねていただきまして、38、39ページを御覧ください。5節農林水産業費雑入と、1枚はねていただきまして、40、41ページを御覧ください。7節土木費雑入と8節消防費雑入で、5節農林水産業費雑入のうち建設部所管は、土地改良施設維持管理適正化事業交付金1千890万円、8節消防費雑入

のうち建設部所管は、庄内川水防センター光熱水費負担金64万353円です。

続きまして、22款市債、1項市債、2目土木債、予算現額14億1千400万円、収入済額9億5千900万円、収入未済額3億2千700万円、1節道路橋梁債と2節都市計画債です。

以上が、建設部所管分の歳入でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

続きまして、建設部所管の歳出を御説明します。

決算書68、69ページを御覧ください。

4款衛生費、1項保健衛生費、1枚はねていただきまして、70、71ページを御覧ください。3目環境衛生費、予算現額2億1千866万1千円、支出済額2億1千592万4千221円、8節旅費から、1枚はねていただきまして、72、73ページを御覧ください。18節負担金、補助及び交付金までです。

建設部所管につきましては、市道野田町1号線等整備費1千209万1千200円、市道朝日貝塚東線等整備費2千48万2千円、市道野田町舟付1号線等整備費401万5千円、一場地区公園整備費4千987万2千900円です。

続きまして、3項上水道費、1目上水道費、予算現額232万5千円、支出済額232万5千円、1枚はねていただきまして、74、75ページを御覧ください。18節負担金、補助及び交付金です。建設部所管といたしましては、名古屋市上下水道局水源施設負担金220万5千円です。

続きまして、6款農林水産業費、1項農業費、1枚はねていただきまして、76、77ページを御覧ください。4目農地費、予算現額1億1千715万8千円、支出済額1億1千577万6千559円、7節報償費から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、土地改良費6千642万900円です。

続きまして、78、79ページを御覧ください。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、予算現額1億733万5千円、支出済額1億677万3千781円です。1節報酬から、1枚はねていただきまして、80、81ページを御覧ください。18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、繰越明許費繰越事業、地籍

調査費 5 3 5 万 7 千 9 4 円です。

続きまして、2 項道路橋梁費、1 目道路橋梁総務費、予算現額 1 千 7 8 万 9 千円、支出済額 1 千 6 5 万 2 千 4 0 円、1 1 節役務費から 1 8 節負担金、補助及び交付金までです。

続きまして、2 目道路維持費、予算現額 4 億 2 千 8 3 3 万 1 千円、支出済額 3 億 6 千 5 5 8 万 9 3 6 円、繰越明許費 5 千 5 5 0 万円、1 0 節需用費から 1 6 節公有財産購入費までです。主なものは、道路維持補修費 2 億 2 千 9 4 2 万 4 千 2 5 3 円です。

続きまして、3 目道路新設改良費、予算現額 9 千 6 0 3 万 4 千円、支出済額 6 千 8 9 3 万 9 千 5 5 4 円、繰越明許費 2 千 4 6 4 万円、1 0 節需用費から 2 1 節補償、補填及び賠償金までです。主なものは、市道西田中蓮池線等整備費 4 千 3 2 8 万 6 千 1 0 0 円です。

続きまして、4 目橋梁維持費、予算現額 2 千 1 0 万 6 千円、支出済額 1 千 9 7 1 万 4 千 5 8 5 円、1 2 節委託料から、1 枚はねていただきまして、8 2、8 3 ページを御覧ください、1 4 節工事請負費までです。主なものは、橋梁維持補修費 9 6 1 万 7 0 0 円です。

続きまして、5 目橋梁新設改良費、予算現額 2 千 7 3 9 万 4 千円、支出済額 2 千 7 3 9 万 4 千円、1 2 節委託料です。主なものは、繰越明許費繰越事業、白弓橋整備費 1 千 8 0 0 万円です。

続きまして、3 項河川費、1 目河川総務費、予算現額 1 千 3 1 6 万 8 千円、支出済額 1 千 2 6 8 万 2 千 3 1 9 円、1 0 節需用費から 1 8 節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、五条川ふるさとの川管理費 7 3 5 万 4 2 0 円です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長、どうぞ。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課長の鈴木です。

続きまして、4 項都市計画費、1 目都市計画総務費、予算現額 1 億 6 千 3 3 2 万円、支出済額 1 億 6 千 6 5 万 3 千 6 0 7 円、1 節報酬から 1 8 節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、都市計画事務費 1 千 1 2 1 万 4 千 2 9 0 円です。

2 目土地区画整理費、予算現額 2 0 億 8 千 3 4 3 万 9 千 2 5 8 円、支出済額 1 6 億 1 千 1 0 6 万 7 千 5 3 8 円、繰越明許費 4 億 7 千 1 9 8 万 6 千 6 6 9 円、1 節報酬から 1 枚はねていただきまして、8 4、8 5 ページを御覧ください。2 1 節補償、補填及び賠償金までです。主なものは、新清洲駅北土地区画整理事業費 7 億 6 千 9 0 万 1 千 3 3 1 円です。

3 目街路事業費、予算現額 2 千 2 0 5 万 1 千円、支出済額 2 千 1 9 8 万 3 千 6 5 9 円、1 0 節

需用費から16節公有財産購入費までです。主なものは、街路管理費1千904万5千375円です。

4目鉄道高架費、予算現額13億216万898円、支出済額8億5千67万6千925円、繰越明許費2億7千463万9千865円、8節旅費から21節補償、補填及び賠償金までです。主なものは、西市場廻間線等整備費4億6千827万6千412円です。

5目公共下水道費、予算現額9億9千943万1千円、支出済額9億9千873万4千150円、10節需用費から23節投資及び出資金までです。主なものは、下水道事業雨水処理負担金4億6千613万5千円です。

6目都市下水路費、予算現額4千314万1千円、支出済額4千233万8千108円、10節需用費から、1枚はねていただきまして、86、87ページを御覧ください、14節工事請負費までです。主なものは、都市下水路等整備費2千624万4千460円です。

7目公園費、予算現額1億9千673万3千円、支出済額1億9千516万6千961円、10節需用費から14節工事請負費までです。主なものは、都市公園管理費1億783万5千307円です。

9款消防費、1項消防費、1枚はねていただきまして、88、89ページを御覧ください。4目防災対策費、予算現額8千84万6千円、支出済額7千286万5千300円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。そのうち建設部所管は、庄内川水防センター管理費408万5千874円です。

建設部所管分の説明は以上です。御審議のほどよろしく申し上げます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ただいまから審議に入るわけですが、質疑者あるいは答弁者は必ず挙手をしていただき、指名の後、名前を名乗ってから、質疑、あるいは答弁に入ってくださいようお願いいたします。

なお、質疑についてはページごとに行います。

それでは、歳入の20、21ページ、質疑のある方、挙手をお願いします。

ありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

それでは、22、23ページ、よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

24、25ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

では、26、27ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

土木費国庫補助金で、26、27ページの都市計画補助金のうち収入未済額が1億9千180万円ほどございますけども、この収入未済額になった経緯と、今後どんな影響があったのかだけ説明していただけますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課の前田です。

経緯につきまして、収入未済額は、一応、まちづくり課所管分と都市計画課所管分がございまして、まず、まちづくり課の所管分が社会資本の整備総合交付金、市街地整備事業のうち8千921万円が繰り越し、踏切道改良事業補助金が西市場廻間線で5千116万2千円、下本町丸の内線で3千35万9千円が繰り越しております。内容につきましては、地権者交渉に不測の日数を要したことにより、年度内の完了は困難ということで、繰り越しをして事業完了を目指しておるということでございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

御説明をお聞きすると、いわゆる高架事業に伴う用地取得とかの関連のことで、不測の日数という形で一応繰り越した。ということは、今後この分はどこかで収入としてきちっと確実に入ってくるということがあるんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

この収入未済額につきましては、本年度、令和4年度に国庫補助金として入ってくる予定でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

次のページに行きます。

28、29ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

30、31ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

32、33ページ、よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

34、35ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

36、37ページ、よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

38、39ページ、いいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

40、41ページ、よろしいですか。

飛永委員。

飛永 勝次委員

度々すみません、飛永ですけども、土木債に1の道路橋梁債と都市計画債それぞれ5千万円、

2億7千700万円、これは収入未済になっています。これも今、多分、前田さんとこの関係のものじゃないかなと思うんですけども、軽く御説明だけ、すみません。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課、前田です。

こちらの金額につきましても、先ほど御説明させていただいた国費の裏の市債部分の、それぞれ新清洲駅北土地区画整理事業費が9千500万円、西市場廻間線が1億3千200万円、下本町丸の内線が2千400万円分の起債分の額が繰り越しておるという状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで歳入のほうは終わります。

続いて、歳出のほうです。

68、69ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

70、71ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

72、73ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

74、75ページ、ありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

76、77ページ、よろしいですか。

( 「なし」の声あり )

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

78、79ページ、よろしいですか。

( 「なし」の声あり )

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

80、81ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

80、81ページ、備考欄の地籍調査費、主要施策は251ページ、252ページであります。これは国庫補助を受けて地籍の調査と確定をして、災害時や復旧事業にも寄与できるような体制づくりをしていく、ということを目的で進められておることと思いますけども、まず、1個聞きたいのが、蓮花寺地区で行ったようですが、繰越しになってしまっているのはどういった背景がございましたか。

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

村瀬土木課長。

土木課長 (村瀬 巧君)

繰越しにつきましては、まだ境界が決まってない方がお見えになりまして、その関係で繰越しをさせていただきました。

以上です。

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

飛永委員。

飛永 勝次委員

地籍調査をするために境界の確定に関しては、それぞれの主張がぶつかるということが多くあると思います。これは官民を先に確定しないと民が決まらないというような状況の中でやっているんじゃないかなと思いますけども、また、市内は、市民の方がこのエリアをやってください、というふうに手を挙げて初めて進められるものであるというのは聞いておりますので、トラブルの多いところはすぐ手が出せないということになると思います。今、申しました官民の境界が確定した場合、例えば、官民というと道路と私有地、用水路と私有地という形になると思いま

すが、例えば、用水路だと用水路の真ん中に境界が来ちゃうとか、ちょこちょこ聞いとるんですけども、そういう場合はそれで確定してしまうのか。あと当然、道路も用水路も維持管理が伴ってきますので、どうするのか。また、これは譲らないという話になった場合に、公共用で使ったものに対しての固定資産の課税はどうなるのかという、今、3点、4点ありましたが、お答えいただけますでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

まず、今の水路等のところの境界につきましては、今、手元に資料がございませんので、また、後ほど調べさせてもらってお答えをさせていただきます。

民民、官民でもそうなんですけど、境界が決まらないことはよくありますので、そういった場合はどうしても不調となってしまっていて、筆界未定ということになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

指定しているエリアの所有者の皆さんがスムーズに同意してっていうことはなかなか難しいことになってくると思うんです。例えば、民民でも官民でもそうなんですけども、所有者の方が認めないとなった場合は、その後、そこだけ地籍測量図ができないとか、そういう状態で地籍調査業務は終わっちゃうものなんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

先ほどもお話ししたように、不調になりまして、筆界未定となりますと、今の法務局に備えてあります公図というものがあるんですけど、その公図のラインがない状態で決まります。今後、さらに決まっていくことはあるんですけど、今の地籍調査といたしましては、筆界未定ということで公図のほうにも線がないような状態で終わるということになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

その場合、未定になってしまっても、多分、固定資産税の課税に関しては公簿課税で、例えば、その方が売買する場合、境界確定しなきゃいけない場合は、その方が自費で行わなきゃいけないということになるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

委員のおっしゃるとおり、個人の負担で確定をしていただくことになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これは調査の最中に所有者の方にそういう説明はされるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

もちろん地権者の方にもお話はさせていただいております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永ですけども、しっかり御理解していただいた上でこういったことを進めていただければ、より災害とかそういったことに関して、起こったときにスムーズな対応に寄与できると思います

ので、市内全域まだまだこれからたくさんあると思いますけども、しっかり取り組んでいただくようによろしくお願いたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほかに。80、81ページ。

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

橋梁維持費のところでお伺いたします。

主要施策が257ページです。

長寿命化ということで、現在、新川小橋のことをやられてると思うんですけども、具体的な長寿命化ということの工法だったりだとか、こういった形の事業になるのかという御説明をまずお願いたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

新川小橋につきましては、令和2年度に橋梁点検を実施しております。令和3年度に詳細設計を行いまして、令和4年、5年度に本体の橋の橋脚に補強の鉄筋を巻き立てまして、そこにコンクリートを吹き付けて補強をする工事を施工する予定でおります。今年度につきましては既に工事発注をしており、右岸側の橋脚を施工していきます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

今、橋脚のことを言われてはいるんですけども、今回のこういった長寿命化の件で歩道だったりだとか、そういったことのあたりを触るだとか、そういった計画というものは現状どんな感じなんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

歩道の部分につきましては、上部のところ、歩くところのタイルがかなり悪くなってきておりますので、その部分の取替えを考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

上部のタイルの張貼り替えということだったんですけども、歩道の橋の下のところにあるんですが、支えるコンクリートの支柱ではないんですけど、そういったものが水位が上がってしまうと水等々がそこに当たってくるかもしれないということを懸念されるんです。こういったことは、あえて触らないというような認識でよろしかったですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

今のところ、歩道の部分の下の橋脚というか、その部分につきましては、今回の修繕の中には入っておりません。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

しっかりと進めていただきたいというふうに思うわけですけども、また、枇杷島の仮橋の件もありますので、その整合性を併せて、新川小橋は大事な橋ですので、計画どおり進めていただきたいというふうに思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

あと、よろしいですか。

飛永委員。

飛永 勝次委員

度々、飛永でございます。

道路維持費、主要施策の253ページになります。

道路のストック点検の計画を立てて、維持管理の工事を行って、これに加えて鉄道自由通路と枇杷島の橋の架け替えに伴う雨水管の工事もいろいろ取り組んでおられるところでございます。このストック点検費は、計画を策定して国に提出すると国庫補助がちゃんとついて、維持管理工事費に充てられるという内容におおむねなっておると思うんですけども、道路ストック点検の計画というのは何か年かにもたがって策定される計画なんではないでしょうか。それとも単年度でしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

5年の舗装修繕の計画を策定しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

分かりました。5年の計画に基づいて、たしかこれは道路の路線が3つぐらいに分かれていて、使用頻度の高いものから優先的に直していくという形で進めておられると思います。これはLINEを使って通報ができるようになってから、結構、私もちょくちょく通報させていただいて、小修繕なんかはすぐやってくれるんで非常にありがたいんですけども、大きく痛んだところなんかは計画をきちっと立てた上でそれなりの予算を取ったりとか、通行止めもしなきゃいけなかったするので、そういった路線はそういった路線で計画があって、定期的なメンテナンスというような考え方で、いわゆる事前にやっていくというような計画になっていたりするのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

まず、1、2級とその他の路線に分かれておりまして、1、2級の路線は5年に1回、点検を実施しております。その他の路線につきましては、10年に1回の実施になりますので、今のところ、平成26年から道路ストック点検を行っておりまして、1、2級の路線は既に2回実施しております。その他の路線はまだ1回目の実施中です。もちろん1、2級の路線のほうが通行量も多いものですので、そちらのほうを重点的に修繕しながら、その他路線も悪いところから順番に直すようにしております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。

次に角度を変えてなんですけども、私の住んでる朝日のエリアなんかは、特に、春日のほうもあると思うんですが、以前に諸先輩は土地改良区として道路を通してくだって区画整理を行いました。

特に、朝日のインター周辺なんですけども、市街化区域に編入されて、工場、倉庫をたくさん建てていただいて法人税の収入が増えました。こういった形で税収が増えたりとかということの投資と転用をやられたわけです。基本的には、土地改良区の道路というのは農道仕様の構造になっておりまして、記憶に新しいところだと、斎苑を建設したときに、その斎苑につながっている土地改良区の道路が今後使用に耐えられない状況にある可能性があるということで直していただきました。現状は清洲東インターの周りの道路って非常に傷んでおりまして、道路が傷むだけでなく、農地も混在しておりますもんですから、道路に接している用水路も土が抜けたり、土留めの板が壊れたり、そこからまた土が漏れて抜けていって道路の表面が下がったりということがあります。こういったことに関しての計画的な修繕とか、何か調査としたとか、今後どうするとかって、そういったものが何かあれば教えてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

先ほどもお話ししました、まずは道路ストック点検というものが元になってきまして、最近では道路の空洞化で陥没の事故等も報道されてあります。そういったことで路面下空洞調査というものもあるんですけど、今のところ市の土木といたしましては、そこまでの予定はしておりませんので、今後そういったものも必要になってくるのかなとは思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

先日もLINEで、ボックスカルバートが埋め込んである道路のところの土が抜けて、表面に5センチぐらいの穴が空いておって、ほじくったら50センチ四方ぐらいの空洞ができとったということで、市内で特に清洲周辺はもともとそれなりの地盤のところには道路ができておるので、空洞調査とか、今、ありますね、非破壊の車が走って調査するとかっていうものがあったりしますね。周辺道路ではアスファルトの表面が紙にしわが入るように、ズルズルッと外にずれたりという部分もあつたりします。空洞調査や何かはできたら1回さらっと危険を感じるころ、特にインター周辺のもともと土地改良区の道路だったとかいうところやなんかは、どこかできちっとプラン立てしていただいて、安心・安全に使える道路を準備していただければなというように思いますので、これは要望しておきます。よろしく願いいたします。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

今、飛永委員と同じところで、道路の管理費ということで、今、JRの駅前の土地区画整理事業が当然進捗していつてるわけなんですけれども、実はパロマだとか、クロレッツですか、その前の道路というものがトラック等々の往来もあって非常に傷んでるような状態が続いております。歩道と車道というのは当然分かれているわけなんですけれども、ちょうど雨が降ったりだとか、



れると思うんです。結果的に現在リース分が何灯で、新設した分が、新設というより清須市の所有になっている分が何灯か、これは分かりますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

まず、リースの本数につきましては、5千628本がリースのLEDの本数になります。それが平成29年3月1日から期間がなっておりまして、それ以降210本新設しております。この210本につきましては、リースの中には入れずに土木課が管理しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

この事業、年間で決算額を見ると5千360万何がしの金額になっておって、この金額になる前は、街路灯費としては年間たしか電気代と維持費で1億円から1億1千万円ぐらいかかっていたものがこういう形になって、電気代も今、助かっておるということになっておると思います。今お話があった5千600本猶予のLEDのリース、これは多分何年後からリースアップが来て、その後、所有権が清須市に移ってくると維持管理の仕方が変わっていくのか、この辺はどのようにお考えか。いつリースアップが到来して、その後の維持管理計画で、今、立てていらっしゃるかどうかだけお聞きしておきます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

まず、今のLEDのリースの期間が平成29年3月1日から令和9年2月28日までの10年間となっております。このリースの期間の終了後は、LEDの灯具は市へ譲渡されますので、そのまま市の管理物として管理をいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

LEDとはいえ、10年経過したものの経年劣化というのは認められてくるようになってくると思うんです。10年経過後に劣化してしまった部分に関しては、その都度交換というようになるのか、それともどこかでこの事業のように例えば一括してリースをかけて、将来の経年劣化リスクに対して全くガラッと新しくするという方法もあると思うんですけれども、こういったことの御検討はどんな感じになっているのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

LED化が終わってますので、その先の補助とか、そういったものは難しいと思いますので、その後につきましては、悪くなったものから修繕をしていくということで今のところは考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これで街が明るくなったと、皆さんいろいろうれしいお声をいただく中で、防犯上も、設置した年度から空き巣被害がちょっと減っているという情報も得ているので、引き続き、しっかり管理していただくことと、市民の皆さんから、暗いですよっていうお話も聞くと思うので、引き続き、防犯に寄与できる街路灯維持事業を進めていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

82、83ページ。

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

空家解体促進費補助金というところでお伺いたします。

主要施策の265ページになります。

こちらに補助件数ということで、11戸ということが内容として明記されているわけですが、こちらの地区の中に特定空家等に認定された案件というものはあったのか、なかったのか、まずお伺いたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課の鈴木です。

この11軒の解体件数の中で、特定空家と認定されていたものについては2軒ございました。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

2軒ということで、工事に係る費用というものを当然助成するわけです。こちらというものは、市民の皆様には広報であったりホームページであったり等々で周知はされているかとは思いますが、解体する業者だとか市内業者も含めてなんですが、こういったことを業者のほうに促しながら、市民の皆さんにも啓発というものも必要になってくるのではないかと思うわけです。こういった業者に対しての周知だとか、普及啓発ではないんですけど、そういったことをやられているのかどうかということをお伺いたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

今おっしゃったとおり、令和3年度の場合ですと5月と9月に広報に載せておまして、また、窓口でのパンフレットの配布ですとか、一番多いのは、当然、空家の所有者の方にこういった制度がありますよということで、直接御活用いただいて、何らか対応をしていただきたいというお

願いをしております。

同時に、今おっしゃられましたように、業者のほうにも当然相談がありますし、なかなか住民の方ではこういったことに慣れてみえないものですから、よければ業者と直接、市が話しますということで、制度なり申請なりの話も説明はさせていただいております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

今、直接ということも、業者のほうにも、ということで進めていただけてるなというふうに思うわけです。これは令和3年ということなのですが、今年度ではないんですけども、こういった特定空家だとか認定された案件というのはありますでしょうか。分かる範囲で結構なんで、お教えください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

今年度8月に空家の認定の協議会のほうを行っております。その際に、5軒の案件について認定のお諮りをさせていただいたんですけど、そのうちの4軒が委員の方から特定空家として認定をしていただきましたので、今後はその4軒を重点的に解体していただけるように努めていこうと考えております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ぜひ、お願いいたします。

今、補助限度額というのは20万円ということで、しっかり補助額をつけていただいているとは思いますが、今後、空家だったりとか、国・県だとかの補助要綱も含めて、市のほうでそういったものを利活用して、この額が少しでも増えるということは、そういう空家解体だとか

もより進捗していく方向になるのではないのかなというふうに私、思うので、そういったところも踏まえまして、しっかり御検討をしていただくことをお願いします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

久野です。

一番下の区画整理費についてお尋ねいたします。

今、市内で4か所、区画整理が行われていますよね。春日地区2か所と清洲地区2か所、それぞれの進捗状況をお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課、前田です。

まず、新清洲駅北土地区画整理事業の進捗率について御報告させていただきます。

事業費ベースになるんですけど、全体の事業費ベースで令和3年度末で80.4%が完了しております。あと、建物等がございますので、移転につきましては全体55戸、地区内にございますけど、そのうち令和3年度末で47件の移転が完了しております。

まちづくり課からは以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

その他の進捗についてですが、春日学校橋西土地区画整理事業につきましては、おおむね事業が完了しております、1件、補償の関係で長引いておりましたが、その件も解決しておりますので、できるだけ早い段階で早期の解散に向けて努めておるという状況でございます。

もう1つは、春日新橋西土地区画整理事業につきましては、こちらは事業費ベースですが、進捗率で91.9%でございます。こちらについても、一部移転補償で難航した案件がありましたが、それもおおむね見通しが明るくなってきましたので、それ以降、街区道路の築造ですね、

そういったものが今後進んでいくという形でございます。

最後に、清洲駅前の土地区画整理事業につきましては、進捗率で事業費ベースで41.47%でございます。こちらにつきましても、まだ保留地等の販売は始まっておりませんが、道路築造や埋蔵文化財調査等を実施しておるといような状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

久野です。

ありがとうございました。

それで、今、一場の東ですか、清洲中学校から北のほうに区画整理に向けて準備が進んでいるとお聞きしているんですけど、今どこまで話が進んでいるかお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

今現在におきましては、まだ正式に区画整理組合は立ち上がってはおりません。予定としましては、令和9年度に組合が立ち上がるように、今、発起人会ですね、世話人の方たちで調整を進めておるところでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

組合員じゃなくて地権者とか、やる面積はわかりますか。まだ、わかりませんか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

面積につきましては、約18.5haになります。

地権者の件数になりますが、180件の地権者の方で、約88%の同意が得られておるとい

状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

ありがとうございました。

新清洲駅北の区画整理のことで1点伺います。

前回の全協のときに、西市場助七線から新清洲駅に向かって18メートル道路が今月の30日10時に開通って説明がありましたよね。それで、開通した時点で既存の今ある道路はどうなるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課、前田です。

今ある既存の駅前線につきましては、一応、今、県道なんですけど、そちらが降格して市道管理になって、今ある助七西市場線に抜ける道は車両は通れなくなりまして、今ある18メートルの道路に付け替えということになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

久野委員。

久野 茂委員

車は駄目で、人とか自転車は通れるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

人につきましては、一応、道路上はつながっておりますので、通って通れんことはないという状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

今の道路の話なんですけど、ロータリーを造ったところに9月30日で供用開始になるという話で、そうすると、今、説明された道路って、その道路の、東に今ある道路の既存の道路のことですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課、前田です。

先ほどお話しした内容の道路につきましては、今、委員が言われたように、東側の県道になります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

分かりました。

この関係で質問を変えさせていただきます。

主要施策でいくと270ページ、新清洲駅前に関してです。

決算額として7億6千万円、めくると繰越明許で4億8千万円、この1年度で12億円ぐらいのお金が決算額で出ていっていると。たしかこれは途中で20億円増やして全体として50億円ぐらいの事業になったと思うんですけども、前年度ということは、全体50億円とすると、24.5%使ったということになるんですが、この80%の進捗に向けて令和3年度は結構進んだという認識でいいんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

事業の進捗につきましては、当初計画の中で進めておりますので、事業が特段進んでおるとか遅れておるとか、あまりそういうのは関係なく、事業費主体でやっておりますので、予定どおりということになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。あと、財源内訳を教えてくださいなんですが、地方債が270ページだと3億3千200万円、272ページだと4千200万円の地方債の発行があるんですけども、地方債の発行額の累積額って何か書類としてオープンにされているんですか。例えば、全体の貸借対照表だとか、そういったものってどこかでオープンにされているんですか。僕は不勉強で申し訳ない、分からないので。この事業に関する収支とかがっていうのはどこかで見られるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

当初の事業計画上は一応お示ししとるんですけど、年度年度で幾ら使われてというのは、予算上は上がってきとるのを累積するしかないという状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

50億円の足が出なけりゃいいということなのか、また、資金の調達の方が債権なので、完成後に清須市の市民の税金から返還をしていくという格好になるんですか。中身って見せる必要ないとか、あるとか、どうなんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

内容につきましては、10億円拡張はお示ししております、今現在、令和3年度までで国庫支出金が約16億円、県費が約1億3千万円ぐらい、市債が13億4千万円ぐらいで、その他が7億4千万円、あと残りが一般財源ということで管理して、今後につきましても、国費については金額は大体決まっておりますけど、市債とか、その他の基金とかにつきましては、今後、財政課と協議しながら、なるべく有効に活用できる予算について活用しながら事業は進めていきたいと思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

これは計画どおり国費も補助金が予定どおりの金額がついて、それを受けて必要な市債を発行して順調に進捗しておる、という理解でよろしいですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

国費につきましては、事業費の中で国費が充てられる部分について、充てた部分の予算執行しかしておりませんので、頂ける国費については全額頂いて、それについて起債等を充てている状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

全体の収支を確認させていただいた上で、またお聞きしておきます。

もう1点だけ教えてください。

財源内訳のその他というところが、270ページは9千800万円で、272ページに至っては3億円とあるんですが、その他というのは基金の取崩しですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

こちらにつきましては、都市計画基金のほうになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

皆様待望の事業であることには変わりないですし、年数が高架に合わせてということになって、まだかなり20年ぐらいかかる事業だと認識しておりますので、長い間、進捗度合いとか何かどこかで、市民に分かりやすくオープンにできればいいのかなというように思います。いずれにしても、全体の事業費の地方債で賄っていく形になると思うので、理解が幅広く及ぶような説明をどこかで必要なんじゃないのかなという気がしております。また、不足した分を基金から入れたりしていろいろやりくりはされとると思いますので、よろしく願いをいたします。

以上です。

次は戻って、265ページ、さっきの空家の話ですね。決算書は同じ83ページですけど、空家の対策に関して、この決算書の令和3年度から都市計画課に移管をされておると思います。防災行政で進めるよりは、多分どこの自治体も都市計画が主体となって空家の対策をしっかりとる都市計画をということで進んでおると思います。令和3年度の議事録は見させていただきましたが、令和4年度になってからは、いわゆる空家の審議会において方針とかそういったものをまだあまり見てないんですけども、これは令和3年度の計画に沿ったものを今、進捗をさせているという認識でよろしいでしょうか。また、今年度は何か審議会で行ったんでしょうか。今、大塚委員の質問でありましたけども、それを教えていただきたいと思います。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

令和4年度につきましては、8月に協議会を実施しております。ただ、これは今年度非公開で

行っております。理由としましては、特定空家の関係ですと、相続の問題とか個人の情報がかなり飛び交う内容になってまいりまして、過年度におきましても、令和3年度とかでも議題に空家等対策計画の改定とか、そういったものがありまして、一部公開という形でやらせていただいております。その際も最初の議題でそれが終わりましたら、ほかの傍聴者の方には御退室をいただいておりますというふうに今までやっております。今回はそういった公開できるものがないので、議題の内容としましては、過去の特定空家として認定していた案件の進捗状況と、令和4年度に新たに先ほどお話しした認定についてお諮りした5軒の内容でございましたので、その件について審議をしていたということで、計画の内容については、委員が今おっしゃられたとおり、何か変化はあるかということとは特になく、予定どおり進めております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

空家という定義がどういう定義かということもあるんですけど、前の防災行政のときに市内の空家を調査員の方を使って、いわゆる空家と思われるものを何軒か当時挙げたと思うんです。現状、市内の空家と思われる軒数と結果的に認定した空家の軒数とその後の処分を改めて確認させていただきます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

過去、防災行政課のほうで市内の特定空家を調査して、それ以降、その台帳を管理しております。当然、皆さんいろんな御事情があつて、空家だったところに住まれた方とかもあつて増減はあるんですけど、今年度当初で空家として台帳に把握しておる軒数は約210軒ほどございます。これも本当にしょっちゅう数字が変わってってしまうんですけども、ただ、空家が決して悪いわけではなくて、管理してある空家については特段問題はございませんので、それはもちろん私もパトロールを行いながら、市民の方の情報なども入れながら、その状況は常に把握しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

今、管理してある空家というふうに認識できるものということに関して、これは所有者さんと直接やり取りができていないとか、できていないとかということとは関係ありますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

近所の方とかもあるんですけど、住んでる、住んでないというのは、ある程度は判断はできるんです。電気メーターが止まってるとか、いろんなことがあるんですけども。その中で私どもとしては特段空家があっても、近所の方も、住んでなくても別に草が繁茂してないとか、建物が倒壊しそうだとか、窓ガラスが割れとったりすると火をつけられたり、泥棒や動物が入ってきてもいかんということで当然通報はいただくんですけども、そういうのがなければ必然的に近所の方も通報とかもしてこないんで、ただ、空家だということで把握だけはしとるだけの状況になります。

ただ、どうしても私ども以上に隣の方なんかは、少し変化があれば教えていただけることあるので、そういう場合は速やかに見て、所有者の方に連絡をして、文書なり口頭なりで、直接おじゃまするなり、そういったところで管理をお願いしますということで通知等はさせていただいております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

何年か前に火事になったところもあれば、空家だと思ってたら雨で倒壊して中で人が亡くなったとかいうことがございました。これは都市計画課の責任かというところ、そういうわけにもいかんと思うんですけども、空家の管理って防犯上、防災上もすごく大事なことです。空家対策で安心・安全という部分の裾野がもうちょっと広がるような施策を、管理の在り方とか、市民の方と

の連携の取り方とかといったものも、今まで以上に地域の安全に向けて取り組んでいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

私から、都市緑化推進事業補助金についてお伺いさせていただきます。

主要施策の268ページなんですけれども、今回、西枇杷島中学校でやられたということです。これは1年間に何校までとか、幾らまでとか、そういった制限はあるのでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

こちらにつきましては、県の事業になってまいりまして、西枇杷島中学校のPTAが299万円とありますけど、上限300万円というところで実施をしております。これは毎年、例えば、令和2年度であれば新川中学校ですとか、まず小中学校などの緑化などを中心に充てているというものでございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

これは1年度300万円までとか、そういう枠はないのですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

そうですね、どうしても県の枠があるものですから、通常、学校とかそういったところのいわゆる市民参加緑づくり事業というものについては300万円、緑のまちなみ推進事業というものですね、もう1つの個人のお宅なんかをやったりするものですけど、こういったものは上限20

0万円というところで予算立てして事業は進めております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

今年度は申請というのはもう来ているんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

本年度、市民参加緑づくり事業のほうにつきましては、まだ確定はしてないものですから、市内のどこかの小中学校にもう1校お願いできないかなというふうに思って、今、動いております。

また、もう1つの緑のまちなみ推進事業という個人宅のものについても、もう既に1件お話は来てまして、お庭の緑化ということを進めていただくということで、県の許可も下りておるような状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

山内です。

この申請はPTAから、それとも学校から、どちら側からするものなんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

こちらはなかなか事業をどう進めていいかわからないということもあるので、私ども役所のほうからお声かけはさせていただいておりますが、主体としてはPTAを中心にやったりする形になります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

山内委員。

建設文教常任委員会副委員長（山内 徳彦君）

山内です。

ありがとうございます。

各校、経年劣化というか、緑地がかなり荒れている学校が多いので、ぜひ市のほうからお声かけいただけるようお願いいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

都市計画費からお伺いいたします。

主要施策263ページになります。

この中で用途地域等変更図書作成業務ということで、今後必要となる用途地域の変更について、必要な検討資料を作成することができたというふうに書かれておりますけども、令和3年度の変更された地域等、詳細をお聞かせください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

令和3年度の用途地域の変更業務の内容につきましては、こちらは令和2年度から2か年で実施しておりますが、地区といたしましては、清須市役所庁舎の周辺と、あともう1つ、JR清洲駅の周辺、この2か所になります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

今、2か年でということで、当然、令和4年度、5年度にかかってくるかと思うんですけども、令和4年度、5年度で変更を目指すというか、変更を考えてるところがございましたら、そちらのほうも御説明をお願いします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

本年度と来年度、2か年で新たに2地区計画しております。1つ目がJRの枇杷島駅の周辺及び名鉄西枇杷島駅付近ということで、西枇杷島の駅の周辺一帯が1つと、もう1つが西清洲ポンプ場の周辺ということになります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

こういったことも周知をさせていただいているんですが、何せ2か年ということでタイムラグがあるといけないので、変更されたときというのはきちっと周知のほうをどうぞよろしく願います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

今のところですね、263ページなんですけども、教えてください。

（2）のところに今後予想されるリニア中央新幹線の整備や地域ニーズに対応するためであります。昨日たまたまニュースで、JRの社長と静岡県知事がお会いになって、進捗は何もなかったということで、2027年の開業も難しい状況の中で、逆に言うと時間ができておるんですけども、このニーズに対応するための用途地域等変更というのは、あまり具体的には言えないと思うんですが、どんなイメージでやられとるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

イメージということで、まず、都市計画マスタープランのほうでも当然位置づけが必要になってくると思うんですが、御存じのとおり企業誘致課ができて、企業を誘致して工業系の用途として開発していこうと考えている地域と、今、農地になっているようなところでなかなか後継者の方がいなくて、どういうふうに土地利用していこうかというようなところで、農業集落が在中している地区と言われるような場所ですとか、そのほかにもまだ調整区域で一部残っているところですね、そういったものを具体的にどういった形にしていくかというところで、ある程度、今、事業が動いていくであろうというところには、当然、それに合った用途にしていく必要があります。今後、リニアインパクトということで、清須市も名古屋市のほうに隣接まちとして、追随していくような形で発展できるような都市計画というのを用途地域の変更をもって実施していく必要があると思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今、非常に頼もしい答弁が幾つもあって僕はびっくりしとったんですけども、JR枇杷島駅は名古屋駅から乗って4分という、ものすごく超優良立地になっておるとこの土地の活用というのは、よくよく情報を得た上で、名古屋駅周辺はかなり駅前開発をやるんですね。なので、そういったことも受けながら、今よりさらに有効利用をして税収が増やせるというようなことになっていけばいいなと思っておるのがまず1点。頑張っていたきたいなというのが1つ。

もう1点が、今の農地の集約というお話がありましたね。これもなかなかできるようでできなくて、産業課の課長もこの間、そういうような感じのことを答弁されとったんです。都市型農業の在り方ということはこの都市計画の中でも考えることができるんじゃないかなというふうに思っていた矢先に今、言われたので、今、具体的にはなかなか難しいでしょうけども、同僚議員から、例えば、農福連携のための農地が必要だったという話もあったりしました。ただ単にどんどん市街化を進めていくということは、人口減の中で結構矛盾する話になるので、これから区画整理をやって宅地の供給なんかも進んでくると思うんです。マクロで見ると矛盾がしているので、

こういったバランスをどういうふうにするかということ、ほかの企業誘致課とか連携を取りながらしっかり議論をして、市民に見えるテーブルの上で議論があればいいなと思っております。ぜひ、こういったことを前向きに御検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

質疑の途中ですけど、ただいまより10分間休憩いたしますので、よろしくお願いいたします。

（時に午前10時52分 休憩）

（時に午前11時05分 再開）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ただいまより建設文教常任委員会を再開いたします。

最初に、土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

先ほど飛永委員の質問に対してお答えできなかったことについてお答えさせていただきます。

地籍調査の中で、水路の中とか道路の中とか、そういったところの境界を確定したところはありませんかというところで、実際、春日地内において、赤道のところと民地の部分を既に道路認定している場所がございます、そういったところは地籍調査によって今の道路の部分のところを境界確定させていただいて、分筆をして、その部分、寄附をいただいております。寄附がいただけないところも固定資産の減免はさせていただいております。

以上になります。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

次、84、85ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

今の前のページ、民間ブロック塀の話だけ教えてください。

主要施策の260ページ、数年前に地震によって学校のプールのブロックが大阪で倒壊をして、小学生の女の子が亡くなったということを受けて、清須市でも公共施設のブロック塀なんかを全部点検をして、公共施設に係るところは全てブロック塀撤去なり補強が済んでおるという認識でございますが、これは民間ブロックでございます。当時、ブロック塀の総延長を調べたのか、危険なブロック塀ということで調査したのか、うろ覚えなんですけども、令和3年度は124.6

4メートルを申請に伴って補助金を出して危険なブロック塀が撤去できましたということだと思  
うんですが、こういった全体の、今申し上げた進捗を教えていただければと思います。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

令和3年度のブロック塀に対する対応につきましては、8月頃に、過去から県に報告しとった  
危険な市内のブロック塀のリストの中で、県のほうからのフォローアップもありまして、その一  
部、危険なブロック塀を30件ほどリストアップしまして、通知ですとか口頭でのお願いをする  
ような形で撤去に向けてお願いしました。そのうち3件が通学路のところで撤去をしていただく  
こともできましたので、進捗はしておるかなというふうに思っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

市民の方にも御理解が広がるような周知なり何なりしていただいて、安全な環境確保に努めて  
いただければと思います。

よろしくをお願いします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

84、85ページ、よろしいですか。

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

街路費ということでお伺いいたします。主要施策の273ページになります。

都市計画道路の維持管理を行ったということで、最後になりますけど、枇杷島駅前線というこ  
とで書かれているわけですが、こちらのJRの枇杷島駅の広場の管理というものはこちらで聞い  
てよろしかったでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

J R枇杷島駅のほうは東口、西口とあると思うんですが、東口が警察署があるほうになります。東口の駅の広場の一部は都市計画課が管理という形になっておりまして、線路沿いとかに一応認定道路もありまして、土木課のほうの管理となります。あと西口のほうにつきましては、ロータリーも含めて土木課の管理になります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

今、御答弁をいただきましたけども、実は東口、西口のロータリー広場も含めて、多分、都市計画課、土木課も含めて現状をよく把握されとると思うんです。これは何かといいますと、多分、スケートボードだとかがJ Rだけではないんですけど、頻繁に利用されているということで、ベンチ等々も含めて、いろんな箇所というのが修繕をしなくちゃいけないような形になっているというのは目に見えて分かります。それで、啓発等々もしていただいている中なんですけども、修繕ということになりますと、2つの課で担って税金ということになってきます。景観が悪くなってしまいうということもありますので、これは難しい案件かもしれないですけども、そういった規制だったりだとか、抑止だったりだとか、やっていただいているとは思いますが、頻度が高くなれば、直してもまたやっしまえば、また修繕がかかるということのいたちごっこになってくるかなというふうに思います。こちらは要望になってしまうんですけども、やってはいただいているんですが、もう少し目を配れるような形の対策というものを講じてくださるようお願いしておきます。

もう1点お伺いします。

新清洲駅付近の鉄道高架費というところで、先ほど久野委員のほうが進捗具合だとか区画整理内のことはお伺いしてたんですけども、仮線用地の用地買収というのめかなり進んでおりまして、これは非常にいい傾向だなと思ってはいるんです。これは清須地内だけの進捗率というふうに伺えるんですけども、稲沢市のそういった進捗率だとか、進捗状況がもし分かればお聞かせくださ

い。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課、前田です。

稲沢市の状況につきましては、稲沢市は一応県道部分と市の買収部分、2つございまして、県道部分につきましては、令和3年度末で件数ベースで29%完了しています。市道部分、市の買収部分が稲沢市は買収と借地というところがございまして、買収につきましては件数ベースで41.9%、借地につきましては23.0%です。

以上になります。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

今、稲沢市の進捗具合ということで、清須市とやり方が変わってくるということで、パーセンテージが清須よりは当然低いというのは前の委員会でもお伺いしたんですけども、目標としましては、一応、令和5年度までにこういった仮線用地の用地買収を完了していきたいというような意向で動いているというふうには伺ってはおります。確認なんですけど、今の進捗率から見たところ、そういったものが可能なのか、それに見合うだけの進捗をやっていっているかどうかだけお答えください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

前田課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

まちづくり課、前田です。

進捗につきましては、一応、5か年計画で用地買収というのは進めさせていただきまして、今年度で清須市内における買収は85%ぐらいを目標に、残りの15%は令和5年度に買収することによって進めておりますので、事業的には順調に進めておるように認識しております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

仮駅舎の件も含めて、仮線用地は大切な事業だと思いますので、しっかり進捗していけるよう  
にお願いいたしまして、質問を終わります。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

86、87ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

都市公園費、児童遊園地のところで教えてください。主要施策は279ページです。

都市公園費の中の事業内容の管理費において、公園施設長寿命化計画を策定したというふう  
にございます。これはいつが起点で、何か年計画で、どういった内容になっているか教えていただ  
けますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

長寿命化計画の策定業務につきましては、令和3年度策定しまして、令和4年度から10年間  
の公園遊具等の修繕計画を立ち上げとるものでございます。

こちらの遊具以外にも、例えば東屋とかトイレとかフェンスとか、そういったものも状況を確認  
して、健全度を判定してランクづけのような形をして、どこからやっていかなければいけない  
かという内容を計画として出したというものでございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

私、不勉強で教えてください。これって策定したときにパブリックコメントとかもらったんで

すか。あと策定済みだと思うので、きっとどこかで見れるんですね。それを教えてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木都市計画課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

都市計画課、鈴木です。

計画につきましては、パブリックコメントは行っておりません。外部に交渉するというのもしておりません。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

せっかく頑張ってつくっていただいたのに公表できる部分はして、危険性が高い公園だということは公表できないでしょうけど、つくりましたぐらいはあってもいいのかな。出生率がこのところずっと1番、2番のまちですので、公園もきれいにしていますというのを上手にPRできるといいなと思っておりますので。見られないんですね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

内容としましては、委員おっしゃるとおり、A、B、Cというランクもついてくるものですが、最優先でやらないかとか、そういうのも出てくるので、そうすると見る方が見ると、何でうちじゃないんだという話が出る可能性も大いにありますし、施設の耐用年数とか、今の金額的な資産価値とか、そういったものを出しております。そういったところで市民の方に公表というのとはしてない状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

毎年、遊具の事故って聞く話ですし、トイレが汚い、怖いって話もよく聞くので、しっかり進めてもらいたいと思うんです。もう1点だけ、次ページの児童遊園なんですけども、児童

遊園に関して長寿命化計画ってないんですけど、こっちはやらなくてもいいんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

現時点では児童遊園等については、長寿命化計画というものは策定はしておりません。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

それはつくらなくていい何か根拠があるんですか。いいっちゃいいんですけど、何か根拠があれば。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

鈴木課長。

都市計画課長（鈴木 雅貴君）

根拠ということでもないかもしれませんが、補助を充ててこういった計画の策定をしております、当然、児童遊園等も公園と同じような形になるものですから、そういった計画というものも御意見としてあると思うんです。これについては市の職員が、定期的に日々いろんなところを回って見ていきますし、何より市政推進員をはじめ地元の方からいろんな御要望とか御相談をいただきますので、それに対応はしているような状況でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

時代によって公園とかの使い方も変わってきちゃって、必ず砂場があったんだけど、今、砂場があるとバイ菌が入るから嫌だって潰してくれっていう話があったりとか、いろいろ時代に伴って、プラス新しい方が住んでいただいているまちですので、この2つがリンクして市民にとって安全で安心できる公園であるように進めていただければと思います。

以上です。よろしく申し上げます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

最後に、８８、８９ページ、よろしいですか。

( 「なし」の声あり )

建設文教常任委員会委員長 (岡山 克彦君)

これで質疑を終わります。

次に、認定第５号 令和３年度清須市水道事業決算認定について説明をお願いいたします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長 (伊藤 嘉規君)

上下水道課の伊藤でございます。

認定第５号 令和３年度清須市水道事業決算認定について御説明いたします。

別冊の令和３年度清須市水道事業決算書、清須市下水道事業決算書の１３ページをお願いいたします。

初めに、収益収入及び支出に関連します財務諸表、令和３年度清須市水道事業損益計算書について御説明いたします。

１．営業収益１億９千１２７万４１４円、(１)給水収益から(３)その他営業収益でございます。主なものは、水道料金収入でございます。

２．営業費用１億７千６８８万１千５７０円、(１)原水及び浄水費から(６)資産減耗費まででございます。主なものは、県水の受水費、配水設備の維持管理に伴う保守点検費、動力費及び職員の人件費などでございます。

１の営業収益から２の営業費用を差し引いた１千４３８万８千８４４円が営業利益となります。

３．営業外収益２千７１万３千６２円、(１)受取利息及び配当金から(４)他会計補助金まででございます。

４．営業外費用５９１万１千４４円、(１)支払利息と(２)雑支出でございます。

３の営業外収益から４の営業外費用を差し引いた１千４８０万２千９１８円と営業利益を合わせた２千９１９万１千７６２円が経常利益となります。

５．特別利益３３万３千５５６円、過年度損益修正益でございます。

６．特別損失３千５８５万５千８１４円、過年度損益修正損でございます。過年度損益修正損は固定資産台帳の修正により、過年度の減価償却費及び長期前受金戻入の過不足を修正する軽微処理を行ったことによるものです。

５の特別利益から６の特別損失を差し引いたマイナス３千５５２万２千２５８円と経常利益を

合わせた633万496円が当年度純損失となります。当年度純損失に、前年度繰越利益剰余金3千831万8千520円とその他未処分利益剰余金変動額1千142万7千419円を合わせた4千341万5千443円が当年度未処分利益剰余金となります。

1枚はねていただきまして、14、15ページをお願いいたします。

令和3年度清須市水道事業剰余金計算書でございます。

資本金の欄、中段をお願いします。

前年度処分後残高といたしまして9億715万7千132円、当年度変動額は0円でございます。当年度末残高は9億715万7千132円でございます。

右側資本剰余金合計の欄をお願いいたします。

前年度処分後残高361万2千756円、当年度変動額9千479万1千63円、当年度末残高9千840万3千819円。

次に、右側、利益剰余金の欄を御覧ください。

前年度処分後残高7千988万9千155円、当年度変動額マイナス633万496円、当年度末残高7千355万8千659円。

資本合計の欄を御覧ください。

資本金、資本剰余金合計、利益剰余金合計を合わせた額が資本合計となります。前年度処分後残高9億9千65万9千43円、当年度変動額8千846万567円、当年度末残高10億7千911万9千610円でございます。

1枚はねていただきまして、16、17ページを御覧ください。

資本的収入及び支出に関連します財務諸表、令和3年度清須市水道事業貸借対照表について御説明いたします。

左側、資産の部。

#### 1. 固定資産

(1) 有形固定資産17億7千724万6千592円、イの土地からトの建設仮勘定まででございます。

(2) 無形固定資産531万4千750円、イの電話加入権とロのソフトウェアでございます。固定資産合計は17億8千256万1千342円となります。

2の流動資産です。

(1) 現金、(2) 未収金、(3) 貯蔵品を合わせた1億1千212万6千794円が流動資

産の合計となります。

1の固定資産合計と2の流動資産合計を合わせた18億9千468万8千136円が資産合計となります。

右のページを御覧ください。

負債の部でございます。

3. 固定負債、固定負債合計7千127万3千755円、(1)の企業債でございます。

4. 流動負債、流動負債合計8千377万7千826円、(1)の企業債から(5)引当金まででございます。

5. 繰延収益、繰延収益合計6億6千51万6千945円、長期前受金でございます。

3. 固定負債合計、4. 流動負債合計、5. 繰延収益合計を合わせた8億1千556万8千526円が負債の合計となります。

その下、資本の部でございます。

6. 資本金9億715万7千132円

7. 剰余金、(1)資本剰余金9千840万3千819円、イ. 他会計補助金でございます。

(2)利益剰余金7千355万8千659円、イの建設改良積立金とロの当年度未処分利益剰余金でございます。(1)資本剰余金と(2)利益剰余金を合わせた10億7千911万9千610円が資本合計となります。負債資本合計と資本合計を合わせた18億9千468万8千136円が負債資本合計となります。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長(岡山 克彦君)

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。よろしく申し上げます。

まず、お聞きしたいのが、決算書の40ページのところに、その年度で行った工事とか更新したものの一覧が上の表に出ておりまして、その4段目の令和3年10月5日、落合歩道橋添架配水管耐震化工事、これは読んで字のごとくだと思いますが、歩道橋にくっついとる水道管の耐震化工事という理解でいいですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課、伊藤でございます。

こちらは歩道橋についている水道管の耐震化工事を行うための設計業務でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これは今年度、工事着手という感じですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

そのとおりでございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

これは実は昨年度、ついこの間ですか、和歌山県でかなり大きな川に架けてある橋の水道管が途中が破裂して、エリアが断水したっていう話があって、直すのに何日かかかったんですね。清須市内にも清須市が行っている水道事業の中で、こういった橋にくっついてるものってほかにもあるのかということと、たしか、市内はほかのエリアは名古屋市水道局が供給しているので、僕の家近くの管には耐震工事をやっているという覚えがあるんですが、市内にこういった水道管で何か所かあるんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

清須市の水道事業で橋に水道管をかけている場所は2か所ございます。あと名古屋市管理の水道管の数も分かる範囲でお答えしたほうがよろしいでしょうか。

そうしますと、飛永委員の近くの朝日のところに水管橋が1か所ございます。あと、五条橋、長者橋、巡礼橋にそれぞれ橋のところに水道管がかかっております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

まず、清須市が行っている事業でこのほかに2か所ある。落合橋のところに付いてる水道管と春日の中にもう1個あるんですね。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

学校橋のところにあります。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

学校橋のところはこういった耐震工事は済んでいるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

今回の落合の橋につきましては、古くなっているということで、漏水がひどくなってきましたので、通常は橋にかかっている管はステンレス鋼管といいまして、耐震性のある管が布設されておるはずですから、ただ、今回、漏水がひどくなってきたもんですから、新たに架け替えを行うものでございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

学校橋は、橋のところに管は大丈夫ということですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

今のところはその認識でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ほかの市内の名古屋市水道局がやっているところも、この間の事故を受けて何らかの点検とか、名古屋水道局に何らかの打診とか、確認とかってされましたか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

こちらからは打診はしておりませんが、当然そのような形でやってみえると思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

何らかの形で市内に供給している水ですから、確認していただければなと思います。

よろしく願いいたします。

全体的なことをお聞きしたいと思いますけども、大体この水道事業というのは、日本政策投資銀行が出しておいて、いろいろ大きな問題がたくさんあります。水道事業においては幾つか課題があります。給水人口及び1人当たり水使用料の減少による有収水量の減少、いわゆるお金をもたらえる水の減少がしているということですね。事業者間の料金格差、利用者数が多いところは1人当たりが安くなれば、そうじゃなくて、管の保持が大変だということは当然高くなるでしょう。将来的に楽観視できない水準の有利子負債、こちらは後でお金のことは言いますが、あとは設備の老朽化、更新事由への対応、また耐震化投資の実施、職員の高齢化ということが問題として挙げられています。今回、この決算書においても、意見書においても書かれておるんですけども、老朽化している管の更新・耐震化、これがなかなか進んでいないと。この事業に関しては、投資による資金の流出が続いているというコメントも入っています。

僕は実は貸借対照表を一通り見たんですね。そうすると、基本的に企業会計で簡単に3つぐら

い健全かどうかと計る指標があつて、自己資本比率と流動負債比率、当座比率というのがある、資金が間に合つるかということと、短期の支払いがちゃんとできるかということと、その準備ができていくかということの指標のようなんですが、これを見るとまず1個、自己資本比率が僕の電卓で計算したんで本当に合つるかどうかわかりませんが、56.95という非常に高い数字になっています。これは業種によって自己資本比率で、見方がいろいろ違うと思うんですけど、大きい施設の固定資産を持って、例えば、サービスを提供するような宿泊業とか飲食なんかだと自己資本比率は14.4ぐらいが適正ですよ。例えば、ほかの業種になるとすると、製造業だと45%ぐらい自己資本比率が適当だと。ということは、言ってみたら、自己資本比率の分子って資本金と剰余金になってくるんですけども、こっだけお金があるので、もうちょっと更新とか耐震化の投資に回せないかと思うんです。もうちょっと何か今以上に、この中に入っている数字だったら10%しかできてなくて書いてあったので、春日地内はまだ区画整理がもうちょっとかかる場所もありますし。一応そのお金はちゃんともらっているんですけど、今回も特別損失が出て、何でかわからないんですけども、こういったことに関しては今後のプランとか計画とかがどうなふうに見てらっしゃるのか、コメントだけいただけますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

配水管の更新の関係になりますけれども、現在は重要給水施設への耐震化をまず第一に考えて更新を進めておまして、毎年毎年そのお金は出ておる状況でございます。

それに加え、新たに水道管が入ってくる場所につきましても、耐震管を入れるような形で今は実施しております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これは特に資本の部のところの資本金が令和3年度だと9億700万円、令和2年だと8億3千600万円、7千万円ぐらい増えとるという形で、剰余金の分なんかだと思うんですけども、こういった資本金のお金というのは取り崩して更新とかに使えるんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

最終的にはそのような形で利用はできることになっておりますけれども、まだそこまで考えておりません。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今おっしゃったように、橋に架かるとる管が耐震管じゃなかったから漏水がひどいから替えましたっていう話もあるんでしょうけど、そもそも皆さん、住宅で使っておるものも同じ傾向にあるんじゃないですか。大丈夫なんですか。調査されましたか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

春日の配水場のほうには日々行っておりますので、その道中、道路を見ております。その中で漏水等が発生しておる場所は、地元の方からもいろいろお電話をいただいて、その都度、対処はしておるわけでございますけども、そういったときには、その管も耐震管にして新しい管に入れ替えてニーズに対応していくということを考えておりますので、これからもそのような形でやっていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今回も剰余金の処分について資本に繰り入れますよという話になっておるんですけども、水道水の供給というのは誰もが実感しているでしょうけど、大事なものなので、なおかつ、その中で供給している管が老朽化して替えなきゃということがあるのと、他の自治体だともっと耐震化が進んでいる、進んでないとかということというのは、経営の安定のためには資本金のお金がどんどん積みまれていくのいいんでしょうけど、やっておくべきことを一旦置いておいてここに金を置いておこうかというのは、水道管というのは劣化し出すと時間は止まらないんで、ちょっとで

も早く取り組んでもらったほうがいいと思うんですね。

例えば、今、払うお金が潤沢にあるかということは当座比率という比べ方があるんですが、これが72.7%という指標で100%を切っているんですね。すぐにお金が払えませんよという数字になってきちゃうんですけど、これがおもしろいのは、現預金の下に未収金5千万円であるんですね。未収金を足すと当座比率というのは健全な数字になるんです。この未収金の内容で何なんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

主に水道料金でございます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

貯金が6千万円で、水道料金の営業的なきちんと回収しなきゃいけないお金が5千100万円もらえてないというのは、これはどんなふうに理解したらいいんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

こちらにつきましては、3月に検針した水道料金を丸々2か月分ございまして、そちらの分は4月に納付書を発送して料金を頂くこととなりますので、全て未収金という形になります。それプラス工事費の負担金とかですね、そういったものもこちらの未収金に入っておりますので、合わせてこの金額になるということがございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

確実にこの未収金は回収できるとなると、事業の仕方としては、ほぼほぼ健全であるという感覚で見させてもらえばいいんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

そのとおりでございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

水道に関しては今回この意見書にも書かれておるんですが、老朽化と耐震化への対応を進めています、多額な資金が必要になります。しっかり準備を今している途中なのかどうかとは思いますが、多額な資金が必要になるということがあるので、収納の確保、経費節減など、効率的な企業経営に取り組んだ上で、水道事業の一本化に向けた対策と協議を進めるとともに、というふうに今回こういうコメントがあるんですけども、これに関してどんな感想を持たれますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

春日の水道事業につきましては、春日の合併当初からもともとの清洲町、新川町、西枇杷島町に関しましては、名古屋市上下水道局からの給水を受けておりまして、その一本化を目指すということで決まっております。現在も名古屋市との水道の一本化に向けて会議を行って調整している段階でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

御苦勞さまでございます。多分、いろいろな調整等でもハードルもあるでしょうし、こういったお金のやりくりのハードルもあるでしょうし、その間、水道管はどんどん劣化していくということがあるでしょうし、いろんな過程がある中ですが、清須市唯一の水道事業でありますので、安心してしっかり供給できるように進めていただくよう御要望させていただいて、質問を終わらせてもらいます。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ほかありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

認定第5号 令和3年度清須市水道事業決算認定について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、認定第5号 令和3年度清須市水道事業決算認定については、認定すべきものと決しました。

次に、認定第6号 令和3年度清須市下水道事業決算認定について説明をお願いします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課、伊藤でございます。

引き続きまして、認定第6号 令和3年度清須市下水道事業決算認定について御説明いたします。

令和3年度清須市水道事業決算書

清須市下水道事業決算書の55ページをお開きください。

初めに、収益収入及び支出に関連します財務諸表、令和3年度清須市下水道事業損益計算書について御説明いたします。

1. 営業収益6億6千598万4千750円、（1）下水道使用料から（4）その他営業収益まででございます。主なものは、下水道使用料及び雨水処理負担金でございます。

2. 営業費用13億1千679万3千144円、（1）管渠費から（9）資産減耗費まででございます。主なものは、管渠ポンプ場設備の維持管理に伴う保守点検費、動力費及び職員の人件費などでございます。

1の営業収益から2の営業費用を差し引いた6億5千80万8千394円が営業損失となりま

す。

3. 営業外収益 8 億 8 千 5 6 6 万 6 千 3 9 2 円、(1) 他会計負担金から(4)のその他営業外収益でございます。

4. 営業外費用 1 億 8 千 8 0 9 万 5 千 6 4 2 円、(1) 支払利息と(2)の雑支出でございます。

3の営業外収益から4の営業外費用を差し引いた6億9千757万750円と営業損失を合わせた4千676万2千356円が経常利益となります。

5. 特別利益 7 7 0 万 8 千 1 8 円、(1) 過年度損益修正益と(2)のその他特別利益でございます。

6. 特別損失 5 万 7 千 4 2 0 円、過年度損益修正損でございます。

5の特別利益から6の特別損失を差し引いた765万598円と経常利益を合わせた5千441万2千954円が当年度純利益となります。当年度純利益に前年度繰越欠損金3億6千332万9千954円を合わせた3億891万7千円が当年度未処理欠損金となります。

1枚はねていただきまして、56、57ページを御覧ください。

令和3年度清須市下水道事業剰余金計算書でございます。

資本金の欄を御覧ください。

前年度末残高 9 億 3 千 1 5 万 2 千円、当年度変動額 1 億 2 千 6 0 9 万 2 千円、当年度末残高 1 0 億 5 千 6 2 4 万 4 千円。

右側、資本剰余金合計の欄を御覧ください。前年度末残高 9 億 9 千 8 3 1 万 6 千 4 0 2 円、当年度変動額 8 5 5 万 6 千 1 5 円、当年度末残高 1 0 億 6 8 7 万 2 千 4 1 7 円。

次に、利益剰余金合計の欄を御覧ください。前年度末残高 マイナス 3 億 6 千 3 3 2 万 9 千 9 5 4 円、当年度変動額 5 千 4 4 1 万 2 千 9 5 4 円、当年度末残高 マイナス 3 億 8 9 1 万 7 千円。

次に、資本合計の欄を御覧ください。資本金、資本剰余金合計、利益剰余金合計を合わせた額が資本金合計となります。前年度末残高 1 5 億 6 千 5 1 3 万 8 千 4 4 8 円、当年度変動額 1 億 8 千 9 0 6 万 9 6 9 円、当年度末残高 1 7 億 5 千 4 1 9 万 9 千 4 1 7 円でございます。

1枚はねていただきまして、58、59ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出に関連します財務諸表

令和3年度清須市下水道事業貸借対照表について御説明いたします。

左側、資産の部でございます。

## 1. 固定資産

(1) 有形固定資産 263億8千784万273円、イの土地からホの建設仮勘定まででございます。

(2) 無形固定資産 23億9千948万9千518円、イの施設利用権からハ、ソフトウェアでございます。

(3) 投資その他資産 313万1千170円、イ、出資金とロの長期前払費用でございます。  
固定資産合計は 287億9千46万961円となります。

## 2. 流動資産

(1) 現金預金から (4) 前払金を合わせた 17億6千895万3千322円が流動資産の合計となります。

1の固定資産合計と2の流動資産合計を合わせた 305億5千941万4千283円が資産合計となります。

右のページを御覧ください。

上段、負債の部でございます。

## 3. 固定負債

固定負債合計 132億9千188万3千969円。(1)の企業債と(2)のその他固定負債でございます。

## 4. 流動負債

流動負債合計 13億5千5万5千864円、(1)企業債から(5)のその他流動負債まででございます。

## 5. 繰延収益

繰延収益合計 141億6千327万5千33円、長期前受金でございます。

3の固定負債合計、4. 流動負債合計5の繰延収益合計を合わせた 288億521万4千866円が負債合計となります。

その下、資本の部でございます。

## 6. 資本金 10億5千624万4千円。

## 7. 剰余金

(1) 資本剰余金 10億687万2千417円、イ、受贈財産評価額からハの国庫補助金まででございます。

(2) 利益剰余金マイナス3億891万7千円、イの当年度未処理欠損金でございます。

(1) 資本剰余金と(2)利益剰余金を合わせた6億9千795万5千417円が剰余金合計となります。

6. 資本金と7. 剰余金を合わせた17億5千419万9千417円が資本合計となります。

負債合計と資本合計を合わせた305億5千941万4千283円が負債資本合計となります。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長(岡山 克彦君)

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。よろしく申し上げます。

決算書の80ページです。

最初に、経営指標に関する事項というところで教えていただきたいと思います。

4行目の「また」というところからなんですが、下にグラフも出てるんですけど、「使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比26.87ポイント減の71.75%となり、事業に必要な費用を使用料で賄っている状況とされる100%を下回っており、使用料以外で賄っている状況となっています。」とありますが、使用料以外で賄っているとあるのは、使用料以外の何で賄っているのか教えてもらえますか。

建設文教常任委員会委員長(岡山 克彦君)

伊藤課長。

上下水道課長(伊藤 嘉規君)

一般会計からの繰入金になると思います。

以上です。

建設文教常任委員会委員長(岡山 克彦君)

飛永委員。

飛永 勝次委員

一般会計からの繰入れになりますと。どうしてもそうなりますね。分かりました。

これは健全と言える水準なのかどうかというのは思うんですが、これはどこかで改善をしてい

くものなんですか。これは後でも言いますけど、自己資本比率が非常に少なく、投資がどんどん先行しとるので、これから先これがまだ下がっちゃうのか、まだ上がる可能性があるのか、どの段階でどうっていうのかはあるんでしょうけども。現状は予定どおりの進捗なのか、ある程度想定内の話なのか、あと今後、聞かせてください。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

今回の数字は少し想定外な数字が出ております。本来であれば100%ないといけないところですので、100%を目指して今後は頑張って事業を進めていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ということは、いわゆる接続率の話なのか。いわゆる供用開始をされた面積とか世帯に対しての使用料の発生が予定どおりにいってないという認識でいいんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

今回はストックマネジメント計画を策定するに当たりまして委託費が少し多くかかりましたので、その関係で少しパーセンテージが下がったものでございますので、今後その費用の負担を考えまして、改善していきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。

改善の方途がきちんとある上でのこういう数字だという認識をさせていただきます。それよろしくをお願いします。

前に戻ってもらうと、報告書ということで、概要からずっと始まっているんですけども、建設

改良の概況ということで、下の4行目ぐらいからポンプ場の話がずっと出てきます。これを教えてもらいたいんですけども、下水道事業って汚水処理事業ですよ。今は下水処理って雨水と一緒にすると、今、雨の降り方がひどいので、大変なことになるのではということで分けて管を設置していると思うんです。川のポンプ場の事業ってどっちかという内水処理事業になると思います。そうすると、汚水処理事業の投資に対しては、今、言った使用料で回収をしていくという格好になるんですけども、内水の処理事業って一般会計から繰入れをしていくのか、収入が資本的収入と営業収入とあるんですけども、資本的収入は多分、起債するのかなって思うんですが、これっていうのはどういう考え方で進んでいるんでしょうか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

雨水事業につきましては、一般会計からの繰入れで行っております。

以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ということは、一般会計から繰り入れていることが汚水処理事業とは別で、きちっと勘定ができるとこの理解でいいですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

そのとおりでございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。安心をいたしました。

全体観について聞かせてもらおうんですが、58、59ページの貸借対照表に行きますと、流動比率と当座比率、さっきの年度年度のお金の支払いに関して、現状の収入と資産と負債の状況だと、多分、健全な数値内に収まっているという、僕が数字をたたいたらそうだったんですね。あ

る程度正常な数値内に収まっておるとい認識なんです。これは予定どおり、想定内の進捗だとい理理解でいいですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

そのとおりでございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。

ただ1点、これは教えてほしいんですけど、習ったように、自己資本比率を計算すると、自己資本比率というのは5.74という金融業みたいな自己資本比率になっちゃうんですね。これも想定内で、これから先々は改善するのかこのままなのか、これはどんなふうに見方をされているんですか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

そのとおりとは認識しております。ただ確信が持てませんので、後ほどお答えさせていただきます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

私も確信が持てないので聞かせていただきました。

資本金は前年度よりも少しずつ増えていって、他会計補助金というのは、現時点で7億円、前年度に比べると400万円ぐらい増えて、何らかで調整を取りながらやっておられるんだなというようには見てるんです。長期にわたる事業で高度成長期の中でやっている事業であれば、それに習ってやっていけば、ある程度想定内でやると思うんですが、現状は人口減少の中でGDPも減っていく、国からの新設の下水道の補助金が既設の修繕のほうに回っていくと、国の全体の財布がどうしてもそっちに行かざるを得ないという状況が見え隠れしているんですね。そうすると、

愛知県なんかは、合併浄化槽の設置の推奨補助金を出したりとかしていて、施設がかなりのお金をかけて造った分だけ後々維持費も管理費もかかっちゃうので、どうなんだろうかという世論もある中で進めておられると思うので、僕は自己資本比率を見てびっくりしたんです。なので、経営努力として、現状、何をしていくべきか、接続率を上げるとかということがあると思うんですけど、それだけお聞かせいただけますか。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

伊藤課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

現在は経営戦略を作成しております、こちらに基づいて財政計画も立てております。その中で事業を行っておる段階でございます。接続率が増えてこないと収入が入ってきませんので、当然接続していただくような形で市民の方にはPRをして進めていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

しっかり周知と理解を促していただいて、継続性が担保された下水道事業になっていくようにというふうに思っただけで今後も見させていただきます。

それと、さっきのはまた後日個別にお伺いしますので、よろしくお願ひします。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

あとないですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

認定第6号 令和3年度清須市下水道事業決算認定について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございました。

全員賛成です。

よって、認定第6号 令和3年度清須市下水道事業決算認定については、認定すべきものと決しました。

ここでお昼の休憩を挟みたいと思います。再開は1時半。よろしくお願いいたします。

( 時に午前11時57分 休憩 )

( 時に午後 1時30分 再開 )

建設文教常任委員会委員長(岡山 克彦君)

それでは、午前中に引き続き、建設文教常任委員会を再開いたします。

初めに、午前中の答弁で伊藤課長より。

伊藤課長。

上下水道課長(伊藤 嘉規君)

上下水道課の伊藤でございます。

午前中の質問の中で自己資本比率のお話があったと思いますけども、下水道事業につきましては、公営企業につきまして資本に繰延収益を合計した数字に負債資本の合計を割り戻すという形で計算いたします。その結果、52.1%という数字になりますので、問題はないかと思います。

以上でございます。

もう1点、よろしいでしょうか。

水道のお話で、川に架かっている水管橋の数のお話で、春日地区2本と答えましたけれども、実際、県道部分の春日の新橋にも架かっておりまして、3本になります。台帳で調べさせていただきまして、清須市内に五条川、新川、庄内川、水場川がございまして、全て合計すると14の水管橋が架かっている状況でございます。

以上でございます。

建設文教常任委員会委員長(岡山 克彦君)

次に、令和3年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分について説明をお願いします。

伊藤課長。

上下水道課長(伊藤 嘉規君)

上下水道課の伊藤でございます。

議案第42号 令和3年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分について御説明いたします。

別冊の市長提出議案等の21ページをお開きください。

議案第42号

令和3年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分について

下記のとおり、令和3年度清須市水道事業未処分利益剰余金を資本金に組み入れ、残余を繰り越すことについて、地方公営企業法第32条第2項の規定により、議会の議決を求める。

表の説明をいたします。

当年度末、令和3年度末残高は、資本金9億715万7千132円、未処分利益剰余金4千341万5千443円でございます。議会の議決による処分額は未処分利益剰余金の当年度末残高4千341万5千443円のうち、既に補填財源として執行した1千833万1千924円を資本金に組入れ、残余である2千508万3千519円を未処分利益剰余金として繰り越すものでございます。処分後の資本金の残高は9億2千548万9千56円となります。

令和4年8月30日提出

清須市長 永田純夫

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

議案第42号 令和3年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、議案第42号 令和3年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第43号 令和4年度清須市一般会計補正予算（第5号）案所管分について、歳入歳出を続けて説明をお願いいたします。

村瀬土木課長。

土木課長（村瀬 巧君）

土木課、村瀬です。

議案第43号について、建設文教常任委員会建設部所管分を一括して御説明します。

18ページ、19ページを御覧ください。

6款農林水産業費、1項農業費、4目農地費、補正額12万5千円の増額、10節需用費です。

説明欄を御覧いただきまして、用排水路管理費は、原油などの価格高騰の影響を受け、不足が見込まれる電気料金の増額です。

続きまして、20、21ページを御覧ください。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、補正額9万7千円の減額、3節職員手当等と4節共済費です。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は、一般職・常勤職員の給与改定を踏まえた期末手当の支給月数の引下げ等に係る会計年度任用職員人件費の減額です。

同じく、2項道路橋梁費、2目道路維持費、補正額1千255万9千円の増額、10節需用費です。

説明欄を御覧いただきまして、道路維持管理費20万1千円の増額及び鉄道駅自由通路維持管理費142万5千円の増額、街路灯管理費1千93万3千円の増額は電気料金の増額です。

同じく、3項河川費、1目河川総務費、補正額3万3千円の増額、10節需用費です。

説明欄を御覧いただきまして、雨水貯留施設管理費は電気料金の増額です。

続きまして、22、23ページを御覧ください。

8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費、補正額1万4千円の減額、3節職員手当等と4節共済費です。

説明欄を御覧いただきまして、会計年度任用職員報酬等は期末手当の減額です。

同じく、3目街路事業費、補正額9万6千円の増額、10節需用費です。

説明欄を御覧いただきまして、街路管理費は電気料金の増額です。

同じく、5目公共下水道費、補正額1千426万2千円の増額、10節需用費と18節負担金、補助及び交付金です。

説明欄を御覧いただきまして、下水道事業雨水処理負担金1千396万9千円の増額、水の交流ステーション等管理費29万3千円の増額は電気料金の増額です。

同じく、6目都市下水路費、補正額147万9千円の増額、10節需用費です。

説明欄を御覧いただきまして、都市下水路等管理費は電気料金の増額です。

同じく、7目公園費、補正額136万8千円の増額、10節需用費です。

説明欄を御覧いただきまして、都市公園管理費128万円の増額、児童遊園等管理費8万8千円の増額は、電気料金の増額です。

続きまして、9款消防費、1項消防費、4目防災対策費、補正額110万8千円のうち都市計画課所管分56万4千円の増額、10節需用費です。

説明欄を御覧いただきまして、庄内川水防センター管理費は電気料金の増額です。

建設文教常任委員会建設部所管分の説明は以上です。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

ありませんか。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

次に、議案第47号 令和4年度清須市水道事業会計補正予算（第2号）案について、歳入歳出続けて説明をお願いいたします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課、伊藤でございます。

議案第47号 令和4年度清須市水道事業会計補正予算（第2号）案について御説明いたします。

別冊の令和4年度清須市水道事業会計補正予算（第2号）案の6ページ、7ページをお開きください。

令和4年度清須市水道事業会計補正予算（第2号）実施計画明細書

収益的支出

1 款水道事業費用、1 項営業費用、2 目配水及び給水費、補正予定額 2 5 5 万円の増、8 節動力費、原油などの価格高騰の影響を受け、不足が見込まれる配水場の電気料金の増額でございます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

これで質疑を終わります。

議案第 4 7 号 令和 4 年度清須市水道事業会計補正予算（第 2 号）案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、議案第 4 7 号 令和 4 年度清須市水道事業会計補正予算（第 2 号）案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第 4 8 号 令和 4 年度清須市下水道事業会計補正予算（第 2 号）案について、歳入歳出続けて説明をお願いします。

伊藤上下水道課長。

上下水道課長（伊藤 嘉規君）

上下水道課の伊藤でございます。

議案第 4 8 号 令和 4 年度清須市下水道事業会計補正予算（第 2 号）案について御説明いたします。

別冊の令和 4 年度清須市下水道事業会計補正予算（第 2 号）案の 6 ページ、7 ページをお願いいたします。

令和 4 年度清須市下水道事業会計補正予算（第 2 号）実施計画明細書

## 収益的収入

1 款下水道事業収益、1 項営業収益、2 目雨水処理負担金、補正予定額 1 千 3 9 6 万 9 千円の増、1 節雨水処理負担金、原油などの価格高騰の影響を受け、不足が見込まれる雨水ポンプ場などの電気料金等の増額によるものでございます。

## 収益的支出

1 款下水道事業費用、1 項営業費用、1 目管渠費、補正予定額 9 万 9 千円の増、7 節動力費、汚水管渠・雨水管渠に係る電気料金の増額でございます。

2 目ポンプ場費、補正予定額 1 千 3 9 2 万 8 千円の増、7 節動力費、雨水ポンプ場に係る電気料金等の増額でございます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ないようです。

これで質疑を終わります。

議案第 4 8 号 令和 4 年度清須市下水道事業会計補正予算（第 2 号）案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教常任委員会委員長（岡山 克彦君）

ありがとうございます。

全員賛成でございます。

よって、議案第 4 8 号 令和 4 年度清須市下水道事業会計補正予算（第 2 号）案について、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、建設文教常任委員会に付託されました建設部所管の議案についての審議は終了いたしました。

教育委員会所管につきましては、16 日午前 9 時 30 分から御審議いただきますので、よろし

くお願いいたします。

これをもちまして、本日は散会いたします。

早朝より御苦労さまでした。

( 時に午後 1時41分 散会 )

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和4年9月14日

建設文教常任委員会委員長 岡山 克彦